

脱原発・放射能汚染を考える

No.310 2024年3月11日
脱原発・放射能汚染を考える北摂の会
west umi@khc.biglobe.ne.jp

原発やめて！核燃料サイクル中止！ 3・10さよなら原発 2024 関西アクション

能登半島地震では、いまなお1万人以上の住民が避難している。珠洲原発建設が阻止されていたことに感謝し、直撃しなくとも予想以上に破壊された志賀原発が稼働していなかったことに安堵しているのに、岸田政権は見直しもせずに稼働しようとしている。

この愚かな「原発推進策」を一刻でも早く終わらせたいと、中之島公園女神像前には600人が結集した。主催者挨拶に続いて、漫才コンビ「おしどりマコ・ケン」のトーク。

修業時代に先輩漫才師から戦争中の国威発揚の台本を見せてもらった話。「先輩に、どんな気持ちで演じたのかと聞くと、小石師匠は『芸人は国のために話をするのでなく、目の前のお客様のために話さなければならない』と言われた。その思いこそ今の私たちの出発点である。2011年の福島原発事故から、東京電力の定例会見にはいつも参加している。最初は数百人いた記者は減少を続けて2人だけの時もある。その背景には政府の大量の資金が流れ込む「電通」による取材誘導、番組誘導がある。私たちはコツコツと丁寧に社会を変えていきましょう」。

続いて福島の避難者から、福井県美浜から、青森からアピールを受け、集会決議を確認して、御堂筋を北上し、西梅田公園までデモ行進を行った。

乾式貯蔵施設はゴミ箱の建設だ

六ヶ所村の再処理工場は27回目の完成延期となり、使用済み核燃料は全国に約2万t蓄積しその行き先はない。原発の貯蔵プールは満杯となり、関電の美浜や高浜原発などでは稼働の継続が危ぶまれている。

福井県外での中間貯蔵も進展しない中で関電は福井県に2月9日に、原発敷地内での「乾式貯蔵施設」の設置を申請した。（注）「乾式貯蔵」とは、使用済核燃料を従来の冷却プールで7年くらい保管冷却した後で、中性子遮へい材で隔壁して使用済核燃料を金属容器に保管するもの。本来は原発から処理施設への搬送のための装置であり、長期間保管する為のものではない。

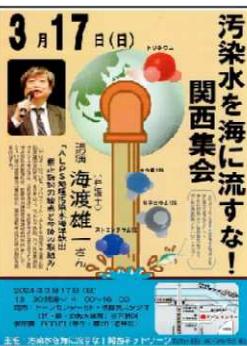


3/17 汚染水を海に流すな！関西集会

東電は昨年8月24日からタンク10基分の7800トン、以後10月5日、11月2日に、そして今年の2月から4回目の排出を行なっている。まだ直接の汚染の影響は顕在化していないが、放射能汚染物による海洋汚染は着実に増加している。海洋汚染で有名な熊本での有機水銀による水俣病の発生も、排出開始後15年後からである。汚染による疾病を防ぐには1日でも早く、汚染水排出を中止することが必要である。

福島地裁に海洋放出差止めを提訴

昨年9月に福島県内外の住民と漁民が海洋放出差止めとなっている。訴状には「原発事故と海洋放出という二重の加害による権利侵害は絶対に容認できないとの怒りを持って提訴する」と書かれている。



日時：3月17日(日)

13:30～

会場：ドーンセンター5階

3月2日 森友事件は未解決！怒りのデモを！ 第78回



3月2日に「森友学園疑獄」を許さない！実行委員会の主催で78回目の「怒りのデモ」が「瑞穂の國記念小学校」の予定地前の公園で行われた。

まず、「ガザの闘い」に連帯し「ラファ攻撃を止めろ」のコールが行われた。寒さの中で集会は20人を超える参加で開催された。主催者から森友事件は未解決であり、公文書の偽造などの犯罪が放置されている。森友事件を忘れることなく徹底追及を続けていく決意が述べられた。



集会に参加された教員の松田さんからは「『君が代』調教NO！処分取り消し裁判」が不当にも最高裁で棄却されたこと、しかし、この間も集められた署名は最高裁に送付したことが報告された。各団体の報告に続いて集会に参加された徳島大学の教授の餐場さんから連帯の挨拶が行われた。

集会が開かれた野田中央第2公園から阪急庄内駅まで元気にコールをしながらデモ行進を行った。

自衛隊の靖国神社集団参拝 (赤旗 2/18・朝日 2/21)

1月9日に陸上自衛隊の幕僚幹部を筆頭に公用車を使用して22人が靖国神社を集団参拝した。防衛省は当初、宗教施設への部隊参拝を禁じた「事務次官通達」に違反するとして調査を行ったが、「自由意思に基づく私的参拝」として問題でないとした。部隊で「実施計画」を作成したことについても、木原防衛相は「行政文書ではあるが公的なものではない」と居直っている。昨年5月には、海上自衛隊の練習艦隊司令官を先頭に幹部候補生学校の卒業生等が靖国神社に集団参拝を行っている。天皇制支配の元での侵略戦争を美化する部隊参拝であり許されない行為だ。

統一教会「解散請求審問」に徹底抗戦 (朝日 2/23)

統一教会の解散請求をめぐる東京地裁での「審問」が2月に開かれた。統一教会は「解散事由の主張は到底認められない」と反論し、請求の却下を求めている。法務省側の代理人の検事は「本格的な攻防はこれから」と述べた。

統一教会が財産流出するのを阻止するための「財産流出特例法」への指定は3月7日に行われた。統一教会は、岸田政権に対して、盛山文科相の統一教会との接触資料を報道に提供するなど恫喝と「取引?」を要求している。

イスラエルによるガザ死者3万を超す (朝日 3/1)

イスラエル軍によるガザ地区でのジェノサイド攻撃、ガザ保健省によると29日で死者は3万人を越えた。イスラエルが占領支配するガザ北部では支援物資を求める人々に軍が発砲し104人が死亡した。世界保健機構のテドロス事務局長は「死者の多くが女性や子供である」「この恐ろしい暴力と苦しみを終わらせなければならない」と投稿した。

最高裁代執行沖縄県の敗訴確定 (朝日 3/2)

最高裁第1小法廷は2月29日付けで上告を退ける決定を行った。玉城沖縄県知事は、「憲法が託した『法の番人』としての正当な判決を期待していたが、門前払いをしたことは極めて残念だ」「県民の負託を受けた反対の意思はかわらない」として、政府との「対話」による解決を求めた。

対馬市核のゴミ処分場反対の現職当選 (朝日 3/4)

高レベル放射性廃棄物の最終処理場の誘致が争点となっていた対馬市長選で、誘致に反対の現職市長が9割近い票を得て圧勝した。全国から多くの支持が寄せられた。

3月2日 ラファ大虐殺やめろ！全国一斉行動 in 大阪

イスラエルはラファ(現地発音はラファフ)への全面的攻撃を準備している。それに対して世界の平和運動が「ラファ大虐殺をやめろ」の統一行動を3月2日に呼びかけた。

日本でも東京、名古屋、大阪、そして各地で緊急の集会が実施された。大阪では2日の昼から、関西ガザ緊急アクションの呼びかけで、JR大阪駅南東バスターミナル広場に200人が参加して行動が行われた。



案内 3/23 「台湾有事」は本当にあるのか

米レーガン大統領、安倍元首相によってつくられた「危機」を現実にしてはならない。絶対起こさないために…。
講師:山本恒人 大経大名誉教授

日中友好教会府連
日時:3月23日 14:00~16:30
会場:PLP会館4階中会議室
主催:9条連・近畿学習会

案内 3/24 私たちが変える 社会は世界は

今回の「木戸衛一講演会」はヨーロッパ・ドイツから見たニッポンが主題。ドイツでは2021年に政権交代。しかしウクライナ問題での軍事協力、パレスチナでのジェノサイドの黙認。

講師:木戸衛一 大阪大招へい教授
日時:3月24日 14:00~16:30
会場:PLP会館5階大会議室



案内 3/30 万人坑問題の講演・学習会

日本企業と日本軍の中国での畜行
講師:青木 茂
日時:3月30日 14:00~16:30
会場:国労大阪会館
主催:日中友好協会府連・堺支部

案内 3/31 老朽原発廃炉！美浜全国集会

大地震は、いつ、どこで、どの規模で発生するか予知できません。

日時:3月31日 12:00~16:00

場所:福井県美浜町 はあとホール

特別報告:差し止め仮処分について

井戸謙一弁護士

原子力事業本部までデモ・集会

美浜町で町内デモを行い 16時解散

主催:老朽原発うごかすな！実行委



3月2日 ラファ大虐殺やめろ！全国一斉行動 in 大阪

主催者の呼びかけに続いて、「ガザ連帯」「ジェノサイド反対」で闘う各地域からの報告が行われた。最後には日本政府が、パレスチナ難民救済事業機関(UNRWA)への資金拠出を停止していることに反対し、それを再開するための行動に協力することが呼びかけられた。

2日の各種の行事でも、多くの会場で「ラファ大虐殺を止めろ」が訴えられた。

